

令和 6 年度 岡山県立林野高等学校

選択実施する検査（小論文）（50 分）

受検上の注意

- 1 「始めなさい。」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 解答用紙は、この表紙の裏面です。
- 3 指示があったら、解答用紙と問題用紙を全部調べなさい。
問題用紙は1 ページから7 ページにわたって印刷してあります。もし、ページが足りな
かったり、やぶれていたたり、印刷のわるいところがあったりした場合は、手をあげて監
督の先生に言いなさい。そのあと、指示に従って解答用紙に受検番号を書き入ってから
始めなさい。
- 4 受検番号は、解答用紙に示してある部分に算用数字を横書きで書きなさい。
なお、解答用紙に、中学校名や氏名を書いてはいけません。
- 5 解答用紙の定められたところに、記号、数、式、ことば、文章などを書き入れて答える
ようになっていますから、よく注意して、答えを書くところや書き方をまちがえないよ
うにしましょう。
- 6 答えが解答欄の外にはみ出したり、アカイかよくわからない記号を書いたりすると、誤
答として採点されることがあります。
- 7 字数制限のある解答は、一マスに一字ずつ書きなさい。句点（ 。（ ） ），読点（ 、 ），
括弧，アルファベット，その他の記号等もすべて一字として書きなさい。
- 8 解答用紙に印刷してある ※ には、何も書いてはいけません。
- 9 「やめなさい。」の指示があったら、すぐを書くのをやめ、解答用紙を机の上に広げて
置きなさい。問題用紙は持ち帰りなさい。
- 10 解答用紙は、検査室からいっさい持ち出してはいけません。

受検番号(算用数字)

解答用紙

1

問 1 (1)

--

(2)

--

問 2 (1)

--

(2)

--

2

問 1

--

問 2

A blank graph paper template with a grid of 12 columns and 10 rows. The right side of the grid is labeled with angles: 30, 60, 90, 120, 150, 180, 210. The bottom row is labeled with angles: 30, 60, 90, 120, 150, 180, 210.

1 アキラさんとミキさんは社会の授業で「豊かさの移り変わり」について先生と会話をしています。【会話文 1】と【会話文 2】を読んで以下の問いに答えなさい。

【会話文 1】

先生：今日の授業テーマは、「豊かさの移り変わり」です。皆さんは、「豊かさ」と聞いてどのようなことが浮かびますか？

アキラ：お金があって、生活に必要なものがそろっていることだと思います。

ミキ：私はおいしいものがしょっちゅう食べられたら豊かさを感じると思います。

先生：不自由のない生活が送れる状態というイメージがあるようですね。さて、実は令和 4 年に内閣府が私たちの生活についての調査を行った中で、心の豊かさと物の豊かさのどちらに重きをおきたいか、という質問があります。次の【資料 1】と【資料 2】を見てみましょう。

【資料 1】

これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか （一部変更）

(a)今後の生活において、心の豊かさか、物の豊かさかどちらに重きをおきたいかについて聞いたところ、「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活することに重きをおきたい」（以下、「これからは心の豊かさ」という。）とする者の割合が 51.7%（「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活することに重きをおきたい」の割合 8.5%と「どちらかといえば物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活することに重きをおきたい」の割合 43.2%との合計）、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（以下、「まだ物の豊かさ」という。）とする者の割合が 46.9%（「どちらかといえばまだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」の割合 31.8%と「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」の割合 15.1%との合計）となっている。

性別に見ると、「これからは心の豊かさ」とする者の割合は女性で、「まだ物の豊かさ」とする者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

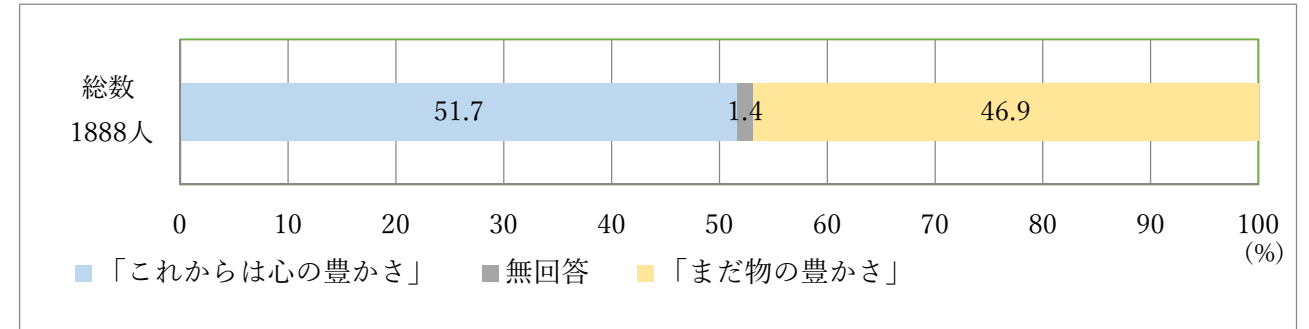
(b)年齢別に見ると、「これからは心の豊かさ」とする者の割合は 70 歳以上で、「まだ物の豊かさ」とする者の割合は 18～29 歳、40 歳代で、それぞれ高くなっている。

出典：内閣府「国民生活に関する世論調査（令和 4 年 10 月調査）」

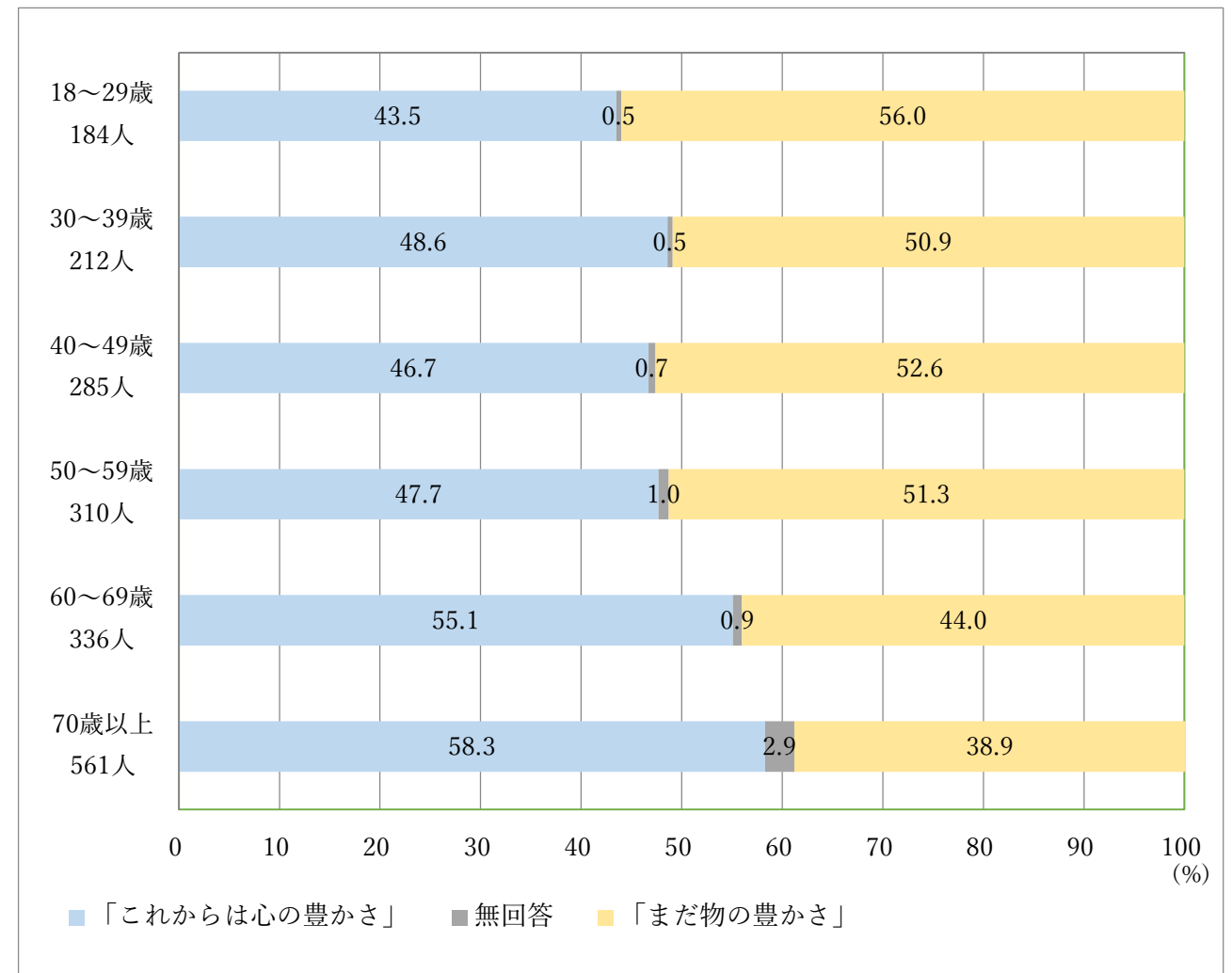
【資料 2】

令和 4 年に行われた世論調査の結果をグラフにしたものである。

＜グラフ I＞（下線部(a)をグラフで表したもの）



＜グラフ II＞（下線部(b)に関して、年齢層別にグラフで表したもの）



内閣府「国民生活に関する世論調査（令和 4 年 10 月調査）」より作成

【会話文 2】

アキラ：＜グラフⅠ＞を見れば、「これからは心の豊かさ」とする人は、「まだ物の豊かさ」とする人より多いことがわかりますね。

6

ミキ：何人くらい多いのかしら。

アキラ：それぞれの人数を求めて引いてみましょう。

ミキ：それよりも＜計算式＞のように、 を算出してから総数にかけの方が，計算が容易に行えますね。

先生：ミキさん，いいところに気がつきましたね。

$$\text{＜計算式＞} \quad 1888 \times \frac{4.8}{100}$$

問 1 (1) ＜計算式＞について，数値を計算し，小数第一位を四捨五入して整数で答えなさい。

(2) 【会話文 2】の に当てはまる文を答えなさい。

問 2 (1) ＜グラフⅡ＞の各年代の回答人数は異なる。そこで，＜グラフⅡ＞の各年代の回答割合は変えないで，回答人数をすべて 100 人とするグラフを作成した場合，総数 600 人のグラフは＜グラフⅠ＞と比較してどのようになりますか。ア～ウのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「これからは心の豊かさ」の割合が増える

イ 「これからは心の豊かさ」の割合は変わらない。

ウ 「これからは心の豊かさ」の割合が減る

(2) (1) でグラフがそのようになると考えた理由を答えなさい。

2 1を受けて、「豊かさ」への関心が高まってきたアキラさんは，現代の人々の「豊かさ」について考察を深めようとしています。【会話文 3】と【資料 3】を読んで以下の問いに答えなさい。

【会話文 3】

先生：「豊かさ」と一口にいても，求めるものは個人や年齢によっても異なることが分かりましたね。1960 年代，高度経済成長期，物質的な豊かさの象徴として，新三種の神器と呼ばれているものがありました。カラーテレビ・クーラー・カーの英語の頭文字をとって 3 C と呼ばれます。先生も家の人に聞いたことがあります，当時かなり画期的なものだったようです。さて，現代の物質的な豊かさの象徴といえるものは何だと思いますか？

アキラ：やっぱりスマートフォンですかね。

先生：どうしてそう思いますか？

アキラ：スマートフォンは，電話もできるし，SNS を使うと誰とでも繋がれるからです。ほかにも分からないことがあればすぐ調べられます。あと，写真も撮ることができます。

先生：なるほど。確かに多くの機能があって便利ですね。スマートフォンは毎日の生活では必需品になりつつあります。では，私たちの人生や今後の生活を豊かにするものかどうかと考えるとどうでしょうか？スマートフォンは私たちの生活を豊かにしていますか？少し古い資料ですが，次の【資料 3】を読んで，豊かさの移り変わりについて考えてみましょう。

アキラ：【資料 3】を読むと，高度経済成長期に 10 代を過ごした世代と，その子どもの世代では豊かさに対する考え方が違うのですね。

先生：その通りです。ただ，【資料 3】に書かれた時代から 10 年経った今は，「多様性」という言葉がよく見られるように，さらにいろいろな人の考え方や価値観を，お互いに受け入れようとする雰囲気があります。みんなにも自分以外の人とたくさん出会い，自分とは違ったものの見方を知って，人生を豊かにしてってもらいたいと思います。では，チャイムが鳴ったので，授業は終わりにしましょう。

【資料3】

『心の豊かさを人間関係に求める若者たち』

時代とともに変わる価値観

かつてと比べると、若者にとって「友だち」はより重要な意味を持つものになりました。周囲の同年代から、「友だちがいないのではないか」と見られることに不安を感じる人も増えています。これは社会的な価値観の移り変わりとともに、「友だち」ととらえる視点が変化してきたからだと考えられます。戦後すぐは日々の食事に困るほど、生きるために切羽詰まった状況でしたから、友だちのことを一番に考えるよりも、やらなければならないことがたくさんありました。そして高度経済成長期には誰もが豊かな生活をめざしていて、懸命に働くことが大切だと考えられていたのです。しかし物があふれ、経済が成熟していくとともに、物質的な豊かさを求める人は多数派でなくなり、社会全体が共感できるような目標ではなくなっていきました。

心の豊かさが重視される時代

今の大学生はだいたい90年代生まれです。彼らの親の世代は60年代生まれ、高度経済成長期に10代を過ごした世代が中心でしょう。その子どもである現在の大学生は、物の豊かさよりも心の豊かさを重視する世代になりました。物質的にはある程度満たされ、物の豊かさを求めること自体に価値が見出せなくなったのです。友だち、恋人、家族といった身近な人たちとの関係、そのつながりの中でうまく暮らしていくことが、より重要だと考えるようになりました。統計的にみても、そう考える人の数字は年々増えています。

それぞれの価値観で豊かさを求める時代

これを別の視点で考えれば、心の豊かさ以外の目標が持ちにくくなった時代とも言えます。若者にとって心の豊かさとは、身近な人たちとの関係、特に友だちとの関係を意味します。友だちの存在を心のよりどころにして、いるのが当たり前、いないなんてはずかしい、そんな価値観があることが伺えます。最近、価値観の違う人同士が認め合い、お互いをリスペクトするという考えの人も増えてきました。多様な価値観の中から、それぞれの「豊かさ」を求める時代に突入したと言えるでしょう。

出典：夢ナビ講義 No.02732 『心の豊かさを人間関係に求める若者たち』

<https://yumenavi.info/vue/lecture.html?gnkcd=g002732&Kw=心（こころ）&SerKbn=g>

問1 【資料3】の下線部の「やらなければならないことがたくさんありました」という日本語を英語にしたとき、正しい英文になるように（ ）内の語を並べ替えなさい。

（ were / things / do / there / many / to ）

問2 【会話文3】の波線部「スマートフォンは私たちの生活を豊かにしていますか？」という問いに対するあなたの考えを、【資料3】の内容をふまえて、次の条件1～条件3に従って180字以上220字以内で述べなさい。

条件1 一マス目から書き終わりまでの間に空らんがないように横書きしなさい。文の区切りであっても改行はしないこと。

条件2 一文目に問いに対する自分の考えを示しなさい。

条件3 二文目以降で、条件2のように考えた理由を書きなさい。